様式３（2015.06改）

作成日　令和　1年　10月　9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300071
事業所名	グループホームねこの手

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域の一員として生活することを理想として、事業所主催の「秋まつり」では、町内の回覧板を利用してのお知らせやポスティングなどで参加を呼び掛けている。昨年と同様、今年も地域の老若男女の参加を期待し準備を進め交流を深めている。また、地域の清掃活動や草取り、敬老会の行事や盆踊り、防災訓練などに参加して交流を深めたり、地域の商店や飲食店を利用することで信頼関係を築き、様々なボランティアとの交流などを通して地域に根差したつながりを大切にしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	家族や地域代表、民生委員、包括支援センターや市職員の参加を得て、2か月ごとに年6回開催をしている。入居者の日ごろの様子や行事の報告をしたり、防災訓練や熱中症などについての取り組状況や対策、予防などについて話し合い、運営に反映するようにしている。また、言葉の力でやる気や元気を取り戻す「ペップトーク」や「見る、話す、触れる、立つ」を柱とした「エマニチュード」などテーマを決めての勉強会も実施している。参加者からの要望や意見は、職員で共有し運営やサービスに生かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	日頃から電話やメールで担当者と情報交換をし連携を図っている。運営推進会議にも毎回、市の担当者が参加して情報やアドバイスを得ている。申請の代行や成年後見業務などで役所に訪れた折には、地域の困難事例の話し合いや報告、相談などをして協力関係を深めるようにしている。また、市主催の研修会には、積極的に参加することを奨励している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日頃の生活の中で意見や要望を聞きケアに反映させるようにしている。家族からは面会や「秋まつり」などの行事の折に必ず声をかけ、現状報告をしたり意見や要望を聞くようにしている。意見箱を常設し、意見を出しやすい環境を整えている。行事や外出の写真とコメントを載せた「ねこの手通信」を発行し家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎